

# 第1回 中央市学校再編に向けた地域検討会議(三村小学校)議事録(概要)

1 日 時 令和6年7月17日(水) 19:00~20:40

2 場 所 中央市立玉穂総合会館

3 出席者

- ・委員(26名)

- ・教育委員会(教育長・委員(4名)・事務局(6名))

欠席者

- ・委員(5名)

1. 開会

2. 市教育委員会あいさつ(教育長)

3. 会長・副会長の選任

4. 会長あいさつ

5. 議事

①市教育委員会説明

教育長から以下の点について説明を行った。

- ・中央市の学校のあり方に関する提言書(学校施設の最適化について)

- ・学校再編に向けた「地域検討会議」への取組み(今後のスケジュール)[案]

- ・学校再編の進め方について(資料1)

- ・地域協議の流れと議論の進め方(資料2)

②質疑応答

会長(進行)・ご質問等ありますか。

委員 

- ・三村小学校の内容はわかるが、玉穂南小学校PTAの方の考え方はどうなっているか。

教育長 

- ・PTAの方々の反対という意見はなかった。これからの方々を考えると、大勢の中で切磋琢磨をして学校教育を進めることが必要なことだという意見を多くいただいた。地域の方々は、人口減少について腑に落ちないという意見を何点かいただいた。これからリニアも通る、土地活用計画も新たなアクションプラン、マスターplanの策定をする中で、人口減少をすることはいかがなものか、今後人口が増える時の対応はどうするか、という意見をいただいた。ただ、反対ということではない。そのようなことが心配という意見があった。

委員 

- ・極楽寺地区はリニアの駅に最も近いエリアで、今から10年ぐらい前は学童が3・4名だったが、今は16名いる。今後開発に伴い影響を受ける地区ということで、農地はかなり宅地になると思われる。極楽寺地区に関しては、できれば三村小の存続は望ましい。ただ、玉穂南小の意見があったが、統合について反対というわけではないが、地域において差があるということを理解していただきたい。

- 教育長
- ・教育委員会においても人口減少を望んではいない。現実として市全体を見ていかなければならない。その中で中央市が抱えている課題が何点かある。特に特殊出生率がかなり低い数字であり、1つの要因としては 15 歳から 49 歳の女性の定着率が悪いというデータがある。そのようなことを加味しながら、子どもたちが安心して学べる環境を作っていくなければならないので、長期的な学校づくりを視野に入れて提案をさせていただいている。
- 委員
- ・会議について進行していることは、市のホームページ等で広く周知はしているか。
- 教育長
- ・結果について、今後周知していく予定。
- 委員
- ・方向性がどのようにになっているとか、話し合いの内容がどのようにになっているのか等をどの段階で市民に周知されるのか。
- 教育長
- ・地域検討会議で方向性が固まれば広報やホームページ等で周知していく。委員の方々から一回ずつ周知した方が良いとの意見があれば行うこともできるが、教育長の私的な意見としては、情報の公開というのはどの程度でどういう形でお示していくのがいいのか慎重に行って行きたい。情報公開については皆様で相談をしていただく中でさせていただきたい。
- 委員
- ・子どもたちの保護者にも説明をしていくのか。
  - ・人口減少の歯止めについて。
  - ・マンモス校になった場合いじめ等が起こる可能性もある。教員不足についても大丈夫なのか。
- 教育長
- ・素案だが、11月中旬から下旬に保護者への説明を予定している。関係者の意見を取りまとめ、確認されたところで説明を行いたい。玉穂南小の地域検討会議で、幼稚園と保育園の保護者も含めてアンケートを取ったらどうかとの提案があったため、次回の地域検討会議までにアンケートを実施する。
  - ・人口減の歯止めをかけるため、市の政策として企業誘致等も含め検討はしているが、定住化は難しくなっている。
- 教育長職務代理
- ・教員は基準により配置をするため、マンモス校だから不足するということはない。
  - 特色のある学校であれば加配として教員が増える場合もある。
- 教育委員
- ・教育支援員が手厚く配置されている。1校に集約することで、同じ人員であればより手厚い対応が可能になる。
- 委員
- ・適正規模とあるが、今現在単級の豊富小学校はどうなのが気になる。市全体で考えた場合、地理的なことを見ると笛吹川や線路で線が引かれている。地域性について今後どうなるのか。橋を渡って通学するのはどうなのか懸念が残る。
  - ・統合が決まった場合、学校の位置は保護者や地域の方々の関心があると思う。全体像が分るような説明をしてほしい。
  - ・人口と生徒数については、私立学校は定員が決められているため生徒数は変わらないが、公立は増減が必ずある。私立学校との差別化とか特色化を考えた時、児童生徒数について色々考えるのはどうかと思う。

- 教育長   ・適正規模を考えた場合、豊富小学校の児童数が今後減少していく。豊富小学校についてもきちんとした形で教育を提供していきたい。玉穂中学校区での考えが一般的と考えている。豊富小学校についても今後説明会を行う予定で、豊富地区の関係者の方々がどういう選択をするのかにも変わっていくと思われるが、検討はしなければならないと考えている。
- ・学校の位置については、統合と決定し、相手方の学校が決まったところで、代表者が集まる中で話し合いをして決めていただきたい。
- 委員    ・統合した場合、安全な通学路の確保や、市単の教員の確保ができないと反対意見が多くでるのではないか。今の三村小学校を見ると校舎が古く、新しい教育はできない学校となっている。もっと新しく廊下も広く、プレイゾーンもあるような学校になるということをいろんな人に見ていただければ賛成が増えるのではないか。いろんな情報を出していただきたい。
- 教育長   ・現在は、市単の先生や支援員の先生も以前より雇用配置をして増えている。具体的な話になった所で改めて提示させていただきたい。
- 委員    ・統合しないという結論もあるのか。
- ・地域主導で決めるという方法をどのように考えているか。
- 教育長   ・統合しないという選択もある。
- ・皆様で意見を集約していただき、事務局でまとめさせていただく。どうしていくかの方向性を委員の皆様で決定していただきたい。ただし、最終的に統合をするのかどうするのかについては市議会を経て決めることになる。
- 委員    ・保護者に説明する時に、提言書によると学校規模の推移で平成22年より玉穂地区はR5年には学級数が増えているが、田富地区は学級数が減っている。玉穂地区は三村小と玉穂南小は統合する必要があるが学級数は増えている。田富小他2校を足して減っているが統合の対象にならないのはおかしいのではないかという意見が出た場合どうするか。
- 教育長   ・玉穂地区での協議をいただいているが、再編という意味は中央市の学校全体の計画を示す。統合は個々の学校を統合することを示す。中央市の小学校の再編と考え検討をしている。田富小学校長寿命化の工事をしているが将来的には田富小学校と田富南小学校との統合を視野に入れたらどうかと考えている。
- 委員    ・今後の話し合いの中で、エリアの跨った部分の情報が飛び交い、どうして我々の所だけ行うのかとの話が出る可能性もあるため確認をした。今後の田富地区の情報も隨時教えていただきたい。
- 会長    ・ホームページ等で公表していただきたい。
- 委員    ・人口減少は止められないと思う。人口が増える可能性があるのは昭和町のみで本市は人口が増えていない。リニアが通っても人口は増えないと思う。企業誘致も簡単にはできないし誘致だけでは人口は増えない。土地利用の検討を行っているが答えが出るまでにかなり先になってしまう。統合を進めるにあたっては地域性の実情に配慮した進め方が必要と思う。保護者の意見もあると思うが、学校のあり

方については先生方の考え方もあると思う。色々な部分で地域の方や保護者の方、保育園・幼稚園の保護者の意見を配慮する必要がある。今の三村小学校の現状を見ると、答えを早く出して長寿命化計画を推進するのか、統合して新しい場所に建てるのか遠く持っていく話ではないと思うので検討をして結論を出していただきたい。

- 会長   ・地域の方々で、どういう学校を作っていくか意見を出していただく事が大事だと思う。
- 委員   ・リニアによって人口は増えないと思う。自然減の中で状況としては大きく変わらないと思う。2050年には、玉穂中学校と田富中学校で、両校とも400人から150名程度減る計算で250名となり、1学年35人学級で3クラスとなる。中学校でその規模だと小学校では間違いなく単級となる。小さな山間地で小さな小学校であれば人間関係をうまく作りながらと言えるが、30人くらいの大きなクラスが各学年にある状況が中央市では起こりうる。そうすると小学校ではクラス替えもできずに同じ子供たちの中で関係性ができる、中学校で初めて2クラスか3クラス程度になる。子どもたちが学習していく上で、文科省の言っている適正規模は、学年2クラスから3クラスで、様々な子どもたちが関係性を学びながら、多様性を認めながら、色々な子どもたちがいることを認識しながら関わっていく、ある程度一定数の子どもたちがいるのがふさわしいということではないか。各学年1クラスのまま、学校を運営していくことも考えられるが、学校をよりよく運営するために、又は多様性を認めるためには、ある程度一定数の子どもたちがいることは望ましいと思う。適正規模や人口規模に合わせた器というものを考えていく必要性がある。
- 会長   ・長寿命化を推進して行くのか、統合再編で行くのか意見をいただきたい。
- 委員   ・三村小学校でも、これから入ってくる世代の保育園の保護者からアンケートを取つた方がいいと思う。
- 会長   ・アンケートする上でどのような文章にするかが難しい問題と思うが行っていただきたい。
- 事務局   ・玉穂南小学校でもアンケートの実施を、との意見をいただいた。内容については、決めつけをして聞くのではなく、保護者の方に今思っていることを率直に意見として伺うことを検討している。  
・この先色々な意見が出て来て各論になったところで学校説明会やアンケートを実施するか会議で決めていただいた上で実施していく。
- 委員   ・アンケートは取るということか。どういう方々を対象とするか。
- 事務局   ・幼稚園、保育園の保護者と各学校の保護者を対象にする予定。
- 委員   ・「統合に向けた考えでいますけどもいかがでしょうか」という言い方か、「統合するのが賛成ですか反対ですか」というアンケートなのか。どのようなアンケートか。
- 教育長   ・保護者の皆様に賛成か反対かと单刀直入に聞くと語弊が出てしまう。「統合することを進めてもいいでしょうか」とかでのアンケートとしてQRコードを使って行うことを検討している。

- 会長     ・統合での意見が多いが、PTAでの意見はいかがか。
- 委員     ・三村小学校が老朽化しているので早急にしていただきたい。統合することに賛成です。教育の質と教育施設の質の向上は必要と思うので新しくしてほしい。
- 会長     ・幼稚園としてはどうか。
- 委員     ・人口増は考えにくいと思う。適正規模を考えた時に、今の三村小学校と玉穂南小学校の人数は2クラスだと思う。減っていった場合、単級となることが分かっているのであれば、なってからでは遅いと思うので、その前に措置をした方がいいと思う。また、幼稚園と保育園の保護者へのアンケートをとることはありがたいと思うが、内容としてこうするから賛成か反対かはきつ過ぎると思うので、こんな考えがあるので皆さんどうですか等の柔らかい質問で行っていただきたい。
- 委員     ・アンケートは、データを示してどうですかという聞き方でないと、会議で方向性を出しているのに何を聞くのかとなりかねない。統合の方向は必要だと思いつつも、アンケートはフラットで聞くべきと思う。情報を同じように出してこういう状況で検討を進めていることを伝えればいいと思う。
- 会長     ・今日で方向性を決めてしまう訳ではないので、アンケート結果を見て検討をしたい。
- 教育委員     ・子どもたちに一番いい環境を与えることを今いる大人たちが考えていくことが大切だと思う。将来のことによく考えて意見を出し合って一番いい結論にもっていきたい。
- 教育委員     ・保護者の立場としては、築年数や施設の状況を考えると長寿命化対策ではなく建替えて新しい校舎で学ばせてあげたい。
- ・1クラスではなく多くのクラスで学ばせた方が良いと思う。
- 委員     ・今の三村小学校は、雨漏りをしたり、職員室から校庭を見ることもできない。
- ・学校とは街のよりどころで中心となるところだと思う。安全でしっかりした物でなければいけない。
- ・地域の皆さんの意見を聞かないと保護者だけでは足りないとと思う。街の人達は知っているのか心配である。多くの人に問い合わせて多くの意見が出たものを整理して反映したらどうか。
- 教育長     ・市民の方々に意見を伺う機会は必要と考えている。その前に地元の方々、関係者の皆様の会議の中の意向を尊重していきたい。まとめたところで関係者、保育園、幼稚園の保護者の方々、意見が集約したら進んだ形で周知をして最終的には説明会は行って行きたいと考えている。段階ごとに進めて行きたい。
- 委員     ・そういう意味でホームページにこの資料を載せたらどうか。方向性を出すためではなく、こういう資料で学校のあり方について検討していますということでどうか。厚い資料でアンケートを取ることになるのでアンケートは一枚で良くて内容はホームページに掲載されているとしてはどうか。
- 事務局     ・そのように考えています。
- 委員     ・統合か新築かわからないが、子どもたちが伸び伸び楽しんで行きたい学校で地域

のコミュニティの中心となれる学校になればと思う。

会長　　・他になければ閉会とする。

## 6. 閉会